





ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
新型コロナ	生後6か月-4歳 ①-②の間は3週以上あける ②-③の間は8週以上あける 5歳- ①-②の間は3週以上あける ②-③の間は3か月以上あける	生後6か月以降全年齢接種可能
B型肝炎	①-②の間は4週以上あける、①-③の間は20週以上あける ①生直後 ②生後1か月 ③生後6か月	定期：0歳で3回接種 1歳以上でも未接種の場合は、早めに接種することを推奨 HBs抗原陽性の母親から生まれたHBs抗原陰性の乳児（健康保険適用）
ロタウイルス	生後6週以降、①は生後8週-15週未満を推奨（遅くとも生後14週6日までに開始） ・1価ワクチン：①-②は4週以上あける ・5価ワクチン：①-②-③は4週以上あける	定期：1価ワクチン 生後6週から6か月（24週）までに完了する 定期：5価ワクチン 生後6週から8か月（32週）までに完了する
ヒブ (インフルエンザ菌b型)	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上、③-④の間は7か月以上あける。①-③までを12か月までに終了する ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の後は7か月以上あけて③ ・初回接種が1歳-4歳：①のみ	定期：生後2か月以上から5歳の誕生日まで
肺炎球菌 (PCV13)	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上あける、③-④の間は60日以上あけて、1歳から1歳3か月で④を接種 ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の接種後60日以上あけて1歳以降に③ ・初回接種が1歳-生後23か月： ①、②を60日以上あける ・初回接種が2歳-4歳：①のみ	定期：生後2か月以上から5歳の誕生日まで 任意：高齢者または肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高い人
肺炎球菌 (PPSV23)	定期： 2023年度末までは65歳以降100歳まで5年ごと（参照：おとなのワクチン）	任意：2歳以上 対象者：(1) 脾臓摘出した人の肺炎球菌予防（健康保険適用）(2) 鎌状赤血球症、脾機能不全、心臓・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある人、免疫抑制剤治療予定者（治療開始まで14日以上の余裕のある場合）
四種混合 (DPT-IPV: ジフテリア・百日咳・ 破傷風・ポリオ) 二種混合 (DT:ジフテリア・破傷風) 三種混合 (DPT:ジフテリア・百日咳・破傷風) ポリオ(IPV)	①-②-③の間はそれぞれ20-56日あける ③-④の間は6か月以上あける (標準は③終了後12-18か月の間) 11歳-13歳未満 二種混合 二種混合の代わりに三種混合ワクチンを接種可 (百日咳予防目的)	定期： 1期：生後2か月-7歳半の誕生日まで (四種混合・三種混合・ポリオ) 2期：11歳-13歳の誕生日前日まで（二種混合） 任意（推奨）： ・5歳-7歳未満 三種混合ワクチンを追加接種（百日咳予防目的） 不活化ポリオワクチンを追加接種（ポリオ予防目的） ・不活化ポリオワクチン：ポリオ流行地へ行く人
破傷風 トキソイド	・①のあと3-8週後に②、①の12-18か月後に③ ・10年ごとに1回接種	・過去に3回の接種歴がない人 ・3回接種歴がある人は10年ごとに1回接種 注意：1967年以前の生まれの人は定期接種がありません
BCG		定期：生後12か月未満 標準的には、生後5か月から8か月

ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
麻しん・風しん (MR)	①：1歳-2歳の誕生日の前日まで ②：5歳-7歳未満 (小学校就学前の1年間)	定期：①1歳、②年長児相当 風しん第5期： 1962年4月2日から1979年4月1日生まれの男性(2024年度末まで) 任意：1歳以降全年齢接種可能 麻疹曝露後や流行地域では、生後6か月以降で接種可能 その場合は接種回数には数えず、①、②は規定通り接種する
おたふくかぜ	①：1歳以降 早期に ②：5歳-7歳未満（小学校就学前の1年間） ①から4週間あければ接種可能	任意：1歳以降全年齢接種可能
水痘 (水痘・帯状疱疹)	1歳-3歳未満： ①：1歳以降 早期に ②：①から3か月以上あける 3歳以上：①-②の間は4週間以上あける	定期：1歳-3歳の誕生日前日まで 任意：1歳以降全年齢接種可能
帯状疱疹	①-②の間は2か月-6か月あける	任意：50歳以上
日本脳炎	①-②の間は6日以上(-28日)あける ②-③の間は6か月以上あける ④：9歳-13歳未満	定期：1期：3歳-7歳6か月 (自治体によっては生後6か月から開始) 2期：9歳以上13歳未満 任意：生後6か月以降全年齢接種可能 2005年5月からの積極的勧奨の差し控えを受け、特定対象者(1995年4月2日から2007年4月1日生まれの人)は、20歳の誕生日前日までは定期接種可能
インフルエンザ	13歳未満：①-②の間は4週(2-4週)あける	任意：生後6か月以上の全年齢 定期：65歳以上(成人のスケジュール参照)
HPV (ヒトパピローマ ウイルス)	①-②の間は1か月以上あける ①-③の間は6か月以上あける 標準的な接種ができなかった場合、①-②の間は1か月以上、①-③の間は5か月以上、かつ②-③の間は2か月半以上あける ①-②の間は2か月以上あける ①-③の間は6か月以上あける 標準的な接種ができなかった場合、①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける 9価 9-15歳未満：2回でも可、その場合①-②の間は5か月以上あける	2価ワクチン 定期：小学校6年から 高校1年女性 任意：10歳以上の女性 4価・9価ワクチン 定期(4価)(9価)： 小学校6年から高校1年女性 任意(4価)：9歳以上の男女 任意(9価)：9歳以上の女性 キャッチアップ接種 1997年4月2日から2006年4月1日 生まれの女性 2022年4月から 2025年3月の3年間、 HPVワクチン (2価・4価・9価)を 定期接種可能
髄膜炎菌 (4価)	リスクが高い人 ①-②の間は8週以上あける	任意：2歳以上 (1) 髄膜炎菌感染症流行地域へ渡航する人 (2) 学校の寮などで集団生活を送る人、送る予定の人 (3) マスギャザリングイベントに参加する人 (4) リスクが高い人(HIV感染症、補体欠損症、無脾症、エクリズマブ治療患者など)
A型肝炎	①-②の間は2-4週あける ①-③の間は20-24週以上あける	任意：全年齢接種可能(WHOは1歳以上を推奨) A型肝炎流行地へ渡航する人

